



野口 昌作 議員

増えた町有地の調査結果は

町長

集計ミスがあり、点検集計中

修正された財産に関する調書

【野口昌】27年度決算の公有財産調書で、山林73ヘクタール、田畑・雑種地22・5ヘクタールなど、土地全体で131・8ヘクタール、学校など建物1万5千平方メートルが増加修正してある。

9月議会での一般質問に、今後調査すると答弁された。

調査結果とその背景は。

【町長】財産調書は、税理士法人に台帳作成

業務を委託し、一から積み上げ、全財産を把握するべく作成した。

議員指摘の山林は、立木の面積が加算されていることが判明した。

来年度決算に向け、点検を行っている。職員に至らぬ点があったことは事実である。

※平成28年度決算からの公会計導入による固定資産台帳整備が求められている。

有効な土地利用で町の発展を

町の発展を

町長

安易な規制緩和は

農業発展を阻害

【野口昌】小規模三角田など条件不利地や荒廃農地について、有効な土地利用ができるよう法規制の緩和など考えないか。

【町長】安易な規制緩和は本町農業の発展を阻害する。慎重な対応が肝要である。

農業振興を積極的に推進している本町としては、すでにある制度を活用しながら、現行法令で対処できる場所に計画的に開発を誘導することで、無秩序な開発を防ぎながら、効果的な土地利用を進める。



農地は農地法で守られている